

# GRANDSTREAM 設定マニュアル

## 【準備】

### 手順1：IPアドレスを確認

◇DHCP 設定の場合◇

十字選択ボタンの真ん中を押す(黄色丸)→「状態」  
→「ネットワーク状態」から確認

◇IP アドレス指定の場合◇

十字選択ボタンの真ん中を押す(黄色丸)→  
「システム」→「ネットワーク IPv4 設定」→「静的 IP 選択」→戻る→  
「新しい設定を適用する為今すぐ再起動しますか？」のメッセージに対して【再起動】→  
「静的 IP 設定」→「静的 IP」→指定の IP アドレスと各設定部分を入力、保存



### 手順2：ブラウザで接続

ブラウザにてログインする

手順1で確認した IP アドレスをブラウザに入力して接続する



#### 【初期設定値】

ユーザー名:admin

パスワード:admin

言語：日本語

※パスワード変更した場合、  
管理者の方が電話機自体に  
残すようにお願いします。

※ログイン時に、エラーがでる場合は、他のパスワードが設定済みです。社内でご確認ください。

### 手順3：内線・アカウント情報の情報等を入力・設定

①メニュー【アカウント】タブ内「アカウント1」→「一般設定」

〈アカウント名〉・・・任意の文字（※内線番号が良いかと思います）

〈SIP サーバー〉・・・SIP サーバアドレス

〈SIP ユーザーID〉・・・SIP-ID

〈認証ID〉・・・SIP-ID

〈認証パスワード〉・・・SIPPW

〈名前〉・・・内線番号

※【全6か所】入力を行い、保存して適用します。



[RSuiteの画面] ※管理者の方にご確認ください。



- ④ 【設定】 → 「一般設定」 → STUN サーバ  
「stun.l.google.com:19302」設定し、保存して適用



- ⑤ 【メンテナンス】 → language

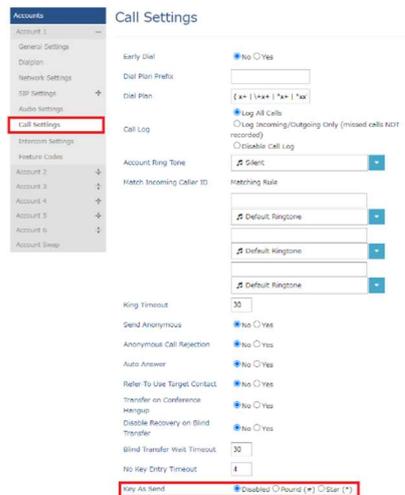
言語設定を日本語に設定すると本体の表示言語が日本語となります

- ⑥ 【アカウント】 → 「通話設定」 → 「コール機能有効化=NO」に設定

※ 機種によっては、FeatureCodes の画面や、項目が「Enable local call Features」になっています。



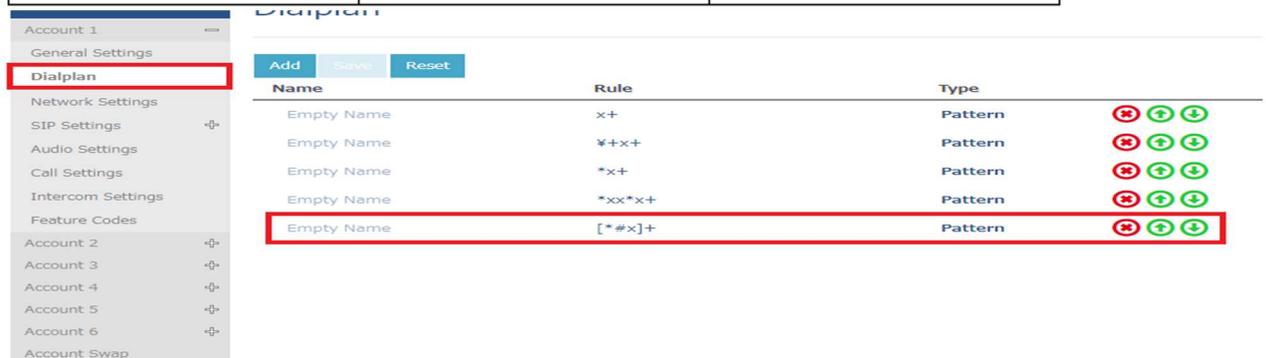
⑦【アカウント】→「通話設定」→「Key As Send」を Disabled に設定



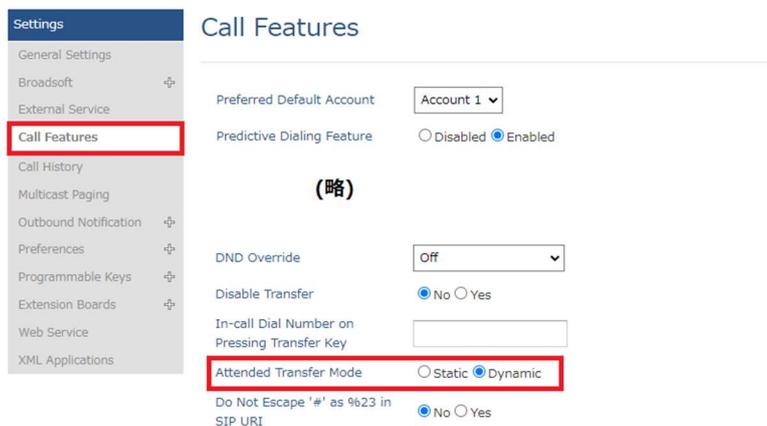
⑧【アカウント】→ Dialplan にて以下の Rule 「[\*#x]+」を追加して Save してください。

追加ルール

Name	Rule	Type
任意（空でも良い）	[*#x]+	Pattern



⑨Setting > Call Features にて Attended Transfer Mode を Dynamic に設定



## 手順 5 : 設定確認

設定をした「アカウント 1」の SIP 登録確認  
YES になっているとネットワーク接続 OK  
※手順 3 の①が間違っていると、「NO」のままです



The screenshot shows the Grandstream GXP1620 web interface. The top navigation bar includes 'Grandstream GXP1620', '管理者 ログアウト 再起動 Factory Reset', and a language dropdown set to '日本語'. The main menu has '状態' (Status) highlighted, along with 'アカウント' (Accounts), '設定' (Settings), 'ネットワーク' (Network), 'メンテナンス' (Maintenance), and '電話帳' (Call Log). The 'アカウント状態' (Account Status) page is displayed, showing a table with the following data:

アカウント	SIP ユーザ ID	SIP サーバ	SIP登録
アカウント 1	[REDACTED]	[REDACTED] 0.40:25060	YES
アカウント 2			NO

The footer of the page reads 'Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2018. All Rights Reserved.'

## 手順 6 : 確認

異常で、設定が完了です。発信着信のテストを行って下さい。

